

みなみたね

第4回定例会及び第7回臨時会



議会だより

第172号

発行
令和3年2月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 広浜 喜一郎 ■編集：議会広報編集委員会 ■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111



(令和2年11月27日干潮時撮影)

通称「サイの水飲み場」西海地区立石海岸・新たな観光スポット

令和2年第7回臨時会が12月2日、令和2年第4回定例会が12月10日～18日まで開催されました。

主な内容

- 一般質問(5名)..... 2～6
- 論点..... 7～8
- 第7回臨時会審議内容..... 9～10
- 請願陳情他・人事・編集後記..... 11～12

一
般
質
問



濱田 一徳 議員

観光地対策について

濱田 西海岸に平成28年に美しい海岸線と世界遺産の島屋久島を一望できる展望所計画があったがその推進状況は。

町長 用地取得の関係で断念した経緯がある。今年に入り他の議員から設置場所の提案があり、現地の確認を行い検討しているが、提案場所は海抜の低いところで津波の関係や人家と隣接し、墓地等もあることから、景勝地として高台がいいのではないかとこの意見もある。近くにはサイの水飲みに似た岩や砂坂孫左衛門の道や石碑、塩焚きの跡等もあるが、他の候補地もあるので県の補助事業など活用して総合的に検討していかなければならないと考えている。

濱田 秋の田んぼを花一杯にする発想について。秋の田んぼにコスモスが咲いており、緑草とのコントラストが素晴らしかった。植えた人は緑肥になり、殺風景な田んぼに花が綺麗だからと言っていた。

もし、七色展望所から眺める田んぼ一面に広がったら観光名所になるのではないか。

町長 花を栽培して緑肥にするのにコスモスは最適だと思う。本町も多面的機能支払交付金を活用して12団体が活動しており、遊休農地の有効活用や農村環境保全活動により花等を植栽している団体もある。コスモスは手間もあまりかからないし田んぼの荒れを防ぎ土づくりに効果があり、見る人々を楽しませてくれる。現在取り組んでいる方々の情報を頂きながら情報発信し、取り組みが拡大するように啓発についても一緒に取り組みたい。



防災について

濱田 災害弱者の避難体制について法改正が検討されているが本町の体制は万全か。

町長 先般台風10号の避難支援等については164名が各避難所に避難された。避難所では検温、手の消毒、3密防止などの対策、保健師の健康チェックを実施した。引き続き職員と一緒に万全な体制で臨みたい。

総務課長 災害時避難行動要支援者名簿は平成26年度に全高齢者の同意を確認した上で名簿登録をし、その後必要支援者については、住民基本台帳等から自動更新するようになっていた。本人の同意があった場合には随時名簿に登録し、台帳を作成している。現在同意率が40・22割登録者数506名です。引き続き住民の防災への意識付けの機運を高めてまいりたい。

コロナ対策について

濱田 今後のイベントについての考え方を聞かせてほしい。

町長 感染予防を図ることとは非常に重要なことであり、併せて町の経済活動を推進していくことも重要であります。本年度は大きなイベントは中止したが、協議の中では規模縮小など十分な予防対策を取った中で実施してはどうかという提案も出た。今後においては、基本的には消毒の徹底、検温の実施、参加者の規模見直し、3密の回避方法、屋内であれば換気の徹底など十分な感染予防を検討し、その時々での感染状況を踏まえ、各イベントについてどう対策を取ったら開催できるか十分検討しながら進めていかなければならない。仮に感染者が出た場合は県の指導を仰ぎながら対応することになるのではないかと考えている。



福島 照男 議員

甘藷基腐病に伴う救済策について

福島 政府よりサツマイモ基腐病緊急支援対策が発表されました。内容は既に生産者に説明が進んでいるので省略し、本町独自の支援策について伺います。

町長 町独自の支援策としては、種子屋久農協が令和2年度サツマイモ基腐病対策支援資金を作りました。その資金に掛かる利子補給の助成を計画しています。議員が提案している堆肥や優良種苗等への助成については国の支援事業対象となりますので、事業活用を推進して行きます。

ふるさと納税対策

福島 現時点の納税寄付額と現在取り組んでいる対策の報告を求めます。

企画課長 12月9日時点での寄付額は6,862万円です。返礼は55品目を設定していますが、新鮮な海産物や農産物など魅力的な返礼品を用意できる自治体が上位を占めているのでこれらを分析しながら取り組んで行きます。

福島 返礼品開発予算を

確保して町長肝いりの事業として取り組めば大きく前進して行くと思うが町長の考えは。

町長 業者に対し地場産品や土産品等の開発を行う際には、研究開発費や試作品等を作る経費は積極的に予算を組む用意があるといつも話をしています。しかし、なかなか前に進まないのが実情です。町内でも流通する商品開発が一番重要と考えているので、そういう開発については積極的に予算化する必要があると思っています。

福祉対策について

福島 先般障害者を対象に行われたアンケート調査から見えてきた課題と対策の報告を求めます。

保健福祉課長 1点目は障害者の高齢化や孤独化が進み老々介護や独り暮らしの増加が見られます。介護保険での支援では足りず、障害福祉からの支援を受けている方もいます。2点目は非常時や災害時の対応に不安を持っている方が56割います。避難出来ない、避難の仕方が解らない

等。3点目は障害がある事で嫌な思いをした事がある方が25割です。その他障害福祉に関する情報が少なく良く解らない等です。今後の対応については現在計画を策定中ですが、具体的課題別に関係団体と調整しながら更なる充実に図っていきます。

福島 介護施設の充足率ですが、現在の入所待機者は何人ですか。

保健福祉課長 町内の入所施設の定員は79名で、認知症対応型の施設が18名となっています。入所待機者は6月1日現在29名です。

福島 施設増による待機者の解消は将来の入所者減が見込まれる事から厳しいとの事ですが、このまま放置しておく訳には行きません。公立病院の一時的避難入所というような対応は取れないものか。

町長 医療と福祉については対応が異なってくるのでそこも含めて状況については再度確認して介護施設の在り方について協議検討します。

福島 聴覚障害者の救済

ですが、高齢化が進んで来ると耳が遠くなりコミュニケーションが取りづらくなって来ます。日本の聴覚障害基準は70デシベル以上でないとは認定されません。しかし現実には60デシベル位から大声で会話をしないと聞き取れません。70デシベル以上の方でも本人が申請しない限り対象から漏れています。実態調査を是非行って頂きたい。

町長 実態調査については担当課と協議致します。

飲食店コロナ救済策

福島 住民の方々から議員は飲食店の現状を把握しているのかと言う指摘を受け、十数店舗訪問しましたが、来店者は少なく経営は困窮しています。私がここで町長に要望するより直接出向いて窮状を把握して頂きたい。

町長 私も含めて職員の方々もあちこち回ってお話は伺っていると思いますが、更にそういう情報収集を行い、何らかの手立てが出来ないかしっかりと検討して行きます。

コロナウイルス対策について



塩釜 俊朗 議員

塩釜 親にとっては突然出てきた新型コロナウイルスで学費、下宿、アパート代等、出費が多く大変だろうと思っっている。本町では、コロナウイルス対策の第3弾として、飲食店、地場農産品クーポン券の支給事業が始まっており、利用しているところである。国の交付税により支給しており、ありがたいと思っるところであります。コロナウイルス対策に専念している高校生、専門学生、大学生等に、本町の特産品、マスク等の支援はできないか提案いたします。

町長 学びの継続が困難となっっている島外の学生の支援を行うためには、まず現状を把握した上で協議・検討する必要があると思っ。

教育長 県内における学支支援は、奄美大島の離島の自治体を中心に、町内の小中

学校を卒業し保護者が町内に居住する学生等に、3万円から5万円の支給を交付する事業を実施している。又、出水市などでは、特産品を学生に送り支援している。まずは地元の子供が島内、島外からどの程度高校、大学等に進学したかなど詳しい調査を含め、検討・協議を行ってまいりたい。

農業対策について

塩釜 サツマイモ基腐病の本町への影響について質問します。基腐病の被害について、でん粉用サツマイモ、安納イモ、焼酎用イモの各作付面積と何割の被害面積か。被害額はいくらか。

町長 県内で平成30年度新たに確認された重要被害であり、対応が喫緊の課題である。本町でも被害が発生し実態調査を行っっている。

総合農政課長 サツマイモ栽培面積は355^{ヘクタール}。でん粉用面積267^{ヘクタール}、安納イモ83^{ヘクタール}、焼酎用5^{ヘクタール}です。被害状況は、澱粉用が作付面積の49^割で132^{ヘクタール}、安納イモ63^割で52^{ヘクタール}、焼酎用の被害はありませんでした。町全体のサツマイモ作付面積355^{ヘクタール}の内52^割184^{ヘクタール}の被害状況。被害額については、昨年からの今年の収量減見込み等を含めまして4,500万円という試算で現在まとめ中である。

塩釜 今後の対策として町独自の対策も必要と思っている。早目に検討すべきではないか。

町長 原因解明や対策について、国・県の研究機関で緊急対策が講じられてきています。基腐病種子島プロジェクトチームを令和2年11月10日に立ち上げており、今後防除対策の推進と次期作に向けた裁

培管理を関係機関一体となっ取り組んでまいりたい。町単独の補助の在り方ということについては、被害状況、関係機関とも連携を計りながら何が一番有効であるか、協議、検討していく。

塩釜 ブロッコリー作付の推進について質問をいたします。中種子町では、サツマイモ収穫後に植付をし順調に育っているのが目につく。本町では本格的に作付けしている圃場は見られない。作付けを推進できないか。

町長 サツマイモの後作としてブロッコリー栽培は農業所得向上で有望な品目であることは間違いないと思っます。進めていくのであれば、集選果選別施設の問題、いろいろありますが、真剣に町として考えていかなければならないと思っている。



廣濱 正治 議員

観光地対策について

廣濱 観光振興対策としてのトイレ等の設置について、その後の進捗状況はどうなっているのか。6月議会において、適当な場所があれば提案していただければ計画を進めると答弁していますが、場所の提案をしても一向に前に進みませんか。場所が良いのか悪いのか、その回答もない。西之表市の国道沿いにはトイレと

か見学場所等が設置されています。南種子町にもそういう場所があってもいいのでは。濱田議員への答弁では低地であるとか、他にも候補地があるとのこと、どのような規模を想定しての考えなのかも含めて答弁をお願いします。

町長 私どもは一緒に現地確認を行い、検討をしているところである。海拔の低い場所、南海トラフの津波の関係、スペースの問題、他の候補地もございますので、総合的に検討しなければいけない。財源

確保をどうするのか、これが一番の課題になってくる。熊毛支庁にも照会をし繋いでいるところですよ。

廣濱 私の質問はトイレの設置であり、それに付随するものも考えての計画なのか。

町長 具体的な規模等については全く白紙の状態である。

廣濱 スペースはそうまでなくても、大型バスが1台止まる程度で結構かなと思う。前向きに計画を進めてもらいたい。

町長 今ようやく熊毛支庁にも繋ぎ事業化できないか、県の補助事業等も導入できないか、前向きに取り組もうということ、検討している。

避難場所の停電時における電源確保について

廣濱 先般の台風時において痛々しい事故がありました。自家発電機使用による一酸化炭素中毒でした。そこで、事故を未然に防ぐ意味からも各避難場所に、より安全な電源の確保をすべきではないか。

町長 避難場所である各地区公民館において、新型コロナウイルス感染症対策に関し、トイレの改修等の施設改修に併せ、地方創生臨時交付金事業を活用して、屋外へのケーブル電線ラインの対策を講じているところです。

ミー市場にて大勢の観光客がバスで来店して、手の消毒だけして中へ入っていました。これでは、南種子町にいつ入ってくるか分かりません。未然に防ぐためにも検温が必要かと思えます。

町長 国が示している方針等がありますので、担当課長より答弁させます。

企画課長 各店舗等において判断して準備していただき、トンミー市場については検討していきたい。

他に

● コロナ対策で一般農業者対策に漏れた方々についての対応は。

● クーポン券の利用のあり方について。

● 町道上中大川線の法面の伐採はいつするのか。

新型コロナウイルス対策について

廣濱 大勢の人が出入りする商店等に検温器を貸与すべきではないか。先日トン



名越 多喜子 議員

残農薬の処理について

名越 使用しなくなった残農薬の処理の方法がわからないうと住民より問い合わせがあります。農薬は産業廃棄物であり、専門業者が処理するとなつている。行政としてどのような対応をとって来たか。

町長 農薬の場合は農薬取締法に基づき、鹿児島県が定めた適正な農薬使用の指導指針により、残農薬や期限切れ農薬等はみだりに廃棄せず専門業者に依頼することになつている。

総合農政課長 農薬の処理は専門業者に依頼するほかに、残農薬は産業廃棄物処理の中で、特別管理産業廃棄物に分類される。県の許可を受けた、処理業者として島内に㈱「東宏」(中種子町)・㈱「フーチャー・キッズ」(中種子町)の2社があり、処理する前に農薬名を連絡し、処理できるか判断が必要である。鹿児島市内の処理業者もあるが、処理量や回収場所など事

前確認と、経費面では処理料金と収集運搬費がかかる。専門業者で適正処理を行うよう農家への周知徹底を図っていききたい。

名越 残農薬の処理を農協が販売した分は、年間2回程度回収できる様に、1市2町の行政で働きかけができないか伺います。

町長 まず担当課長レベルで話ができないか今後情報交換をしながら調査研究をしていきたいと思う。

家電リサイクル法について

名越 リサイクル家電製品のテレビ、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫、エアコンの4品目のリサイクル電化製品の仕組みについて伺います。

保健福祉課長 特定家庭用機器再商品化法(家電リサ

イクル法)は、4品目の電化製品から優良な部品や材料をリサイクルし、廃棄物を減量化し資源の有効利用をする事を目的とした法律である。

名越 販売店で廃棄電化製品を引き取って貰えないと聞いております。行政としてどのように考えますか。

保健福祉課長 町内の1つの事業者は現在訪問回収をおこなっている。もう1店舗は買って貰った時に引き取る。1店舗は仮置き場に不法投棄された為に、今は中止している。西之表の量販店はリサイクル料金と回収料金がかかる。又、持ち込み可能である。

名越 行政が例えば年間に2回程度の中間回収という形はとれないか。もちろんリサイクル料金と運搬費用は自己負担であれば行政の負担も少なく、不法投棄の心配もなくなると思いますか、どのように考えますか。

町長 法律に基づいた対応が行政の基本であり、不法投棄に繋がらないように、周知徹底を図りたい。

観光物産館トシミー市場について

名越 観光物産館トシミー市場の道の駅構想について今の状況を伺います。

企画課長 道の駅登録の要件を満たしていない部分として電話、障害者や妊婦用の屋根付き駐車場、洋式トイレの増設、バリアフリー化、子供のトイレ、休憩室や浄化槽の整備等色々あり、まず財源の確保が必要である。

町長 必要な部分を整備する財源については、職員皆で知恵を絞り、長期振興計画の実施と合わせて活用可能な財源確保を検討していきたい。

論

条例

●南種子町情報公開条例の一部を改正する条例制定について。

【提案理由】

行政不服審査法改正に伴い条例を改正するもの。

質疑 情報審査会の組織は外部か内部か。

答弁 外部にあり、現在弁護士、住民代表、商工団体代表、学識経験者等5名である。

●南種子町河内温泉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について。

入浴料及び温泉プール使用料などの料金改定を行うもの。

質疑 一律50円では値上げ率に差があるが根拠は何か。

答弁 赤字解消には70

0円とか800円になり、急激すぎるため今回は一律とした。

質疑 町外の方の料金は審議されなかったのか。

答弁 今回は検討していない。

質疑 値上げ後の試算は。

答弁 300万円程度改善される試算である。

質疑 今後温泉利用者を増やす対策は考えているか。

答弁 使い勝手の良い施設運営をし、利用者増を図りたい。

討論 一律の値上げは短絡的に試算していると思えないので反対する。

採決 原案に賛成多数で可決。

●南種子町営住宅条例の一部を改正する条例制定について。

点

共益費の徴収を行えるようにするための条例改正。

質疑 共益費の費用見込み額と費用を試算する根拠は。

答弁 共益費は浄化槽維持管理費や共用部分の電気料、水道代で町が400万円相当を負担している。これを団地ごと、戸数毎に分配して共益という形で徴収するもの。

●南種子町へき地学校教職員住宅管理条例の一部を改正する条例制定について。

質疑 なし。

●南種子町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定。

地方税法施行令の一部を改正する政令が施行されることに伴い所要の改正を行うもの。

質疑 なし。

●南種子町農業者休養施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について。

利用料金の料金改正を行うため条例改正するもの。
大人1回350円、小人200円を上限にするもの。

質疑 なし。

事件

●鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の減少及び組合規約の変更。

大島農業共済事務組合の解散に伴い同組合が脱退する事から規約を一部変更するもの。

質疑 共済組合自体が県下一つになるとの情報があるがその関連か。

答弁 理由は把握していない。

予算審議

●一般会計補正予算(第二号)審議から。
地域食材PR事業、公立

種子島病院組合への負担金、宇宙留学生及び成人式参加者へのPCR検査補助、小中学校の学校保健特別対策事業、水道事業会計・国保特別会計への繰出金が主なもので予算総額を歳入歳出それぞれ67億9,539万7,000円とするもの。

質疑 弁護士料は何か。

答弁 鹿児島地裁で固定資産の家の評価に対する不服を理由に本町を被告とする損害賠償請求訴訟が行われている。一審勝訴したが原告が控訴したためその弁護士費用である。

質疑 被告が勝訴した場合、弁護士費用は原告負担か。

答弁 弁護士費用はそれぞれが負担する。裁判費用については今回は原告負担となった。

質疑 水中ドローン16万円の活用用途は。

答弁 海中撮影を行いユーチューブ等で情報発信する。

質疑 食材のPR事業はどのようなものに活用するか。

答弁 新型コロナウイルス支援事業の臨時交付金を活用し、夕食分に地元食材を活用して提供した場合一食当たり8,000円を上限に補助を行う。

質疑 一般廃棄物処理施設等運営管理委託事務費3年間で1億9,690万円の根拠は。

答弁 厚生費等を含んだ人件費、焼却施設の保守点検業務、ごみ処理施設埋め立て処分場の測定分析業務などである。

質疑 WCS用稲の共同利用農業機械導入助成265万円は自己負担分か。

答弁 南種子町WCS生産・利用振興会が、コンバインペラーを新たに導入すると、生産者、利用する畜産農家併せて自己負担関係が出てくる。

質疑 コンバインペラー落下事故の買い換えか。

答弁 8月に収穫作業中落下事故が発生し、町所有の機械が使用不能となり、それに代わる分になる。町の助成金であるが町所有の機械は保険に加入しており、保険金を見込んだ金額の助成である。

質疑 松くい虫伐採木の白アリ対策が必要ではないか。

答弁 埋設処理など国と県・町が連携し対策を取っている。

質疑 伐採木を河内温泉センターの燃料に使えないのか。

答弁 検討させてもらいたい。

質疑 野木田の遺跡調査は遺跡が発見されて行うのか。

答弁 以前遺跡が発見されている。構造改善事業が入ることから確認調査を行うもの。

質疑 令和3年度の宇宙留学生の事務的な進捗状況は。

答弁 受入予定として里親留学23名、家族留学25名である。

●国民健康保険事業勘定特別会計補正予算
予算の総額を9億2,312万8,000円とするもの。

●介護保険特別会計補正予算
予算の総額を7億3,315万1,000円とするもの。

●後期高齢者医療保険特別会計補正予算
予算総額9,338万3,000円とするもの。

●水道事業会計補正予算
収益的収入を2億9,973万8,000円、支出を3億3,964万3,000円とするもの及び資本的支出を1億741万1,000円とするもの。

賛否が分かれた議案 (○は賛成、×は反対、△は除斥)

令和2年第4回定例会(12月10日から18日)

(議員氏名)	(議員氏名)									
	濱田 一徳	福島 照男	廣濱 正治	河野 浩二	名越 多喜子	柳田 博	大崎 照男	小園 實重	塩釜 俊朗	広浜 喜一郎
(議案名)										
議案第50号 南種子町河内温泉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	欠席	○	○	○	×	○	議長職

臨時会

監査委員の罷免・選任について

第7回臨時会（12月2日）で次の議案が可決承認されました。

10月30日町長より提出された「監査委員の罷免について」の議案は、特別委員会を設置付託して審議がなされました。

公聴会の開催を経て、入院療養中の河野浩二監査委員の罷免について、原案同意され、12月2日開催された第7回臨時会で、罷免に同意することとして決議しました。同日に新たな議会選出監査委員として、町長からの選任議案が提出され、12月

3日付で小園實重議員を選任することに同意しました。

監査委員の選任

（議会選出）

小園 實重（71歳）

南種子町中之上3106

番地

昭和24年11月15日生



小園 實重氏

令和元年度決算認定

令和元年度一般会計並びに特別会計（3会計）・水道事業会計の決算認定は9月定例会で決算審査特別委員会に付託され、10月13日から16日までの4日間、各課等の決算状況の審査を行い16日に町長・副町長・教育長・総務課長の出席を要請し、総括質疑を行った。

審査の基本方針

- (1) 予算が議決した趣旨と目的に従って適正かつ効率的に執行されたか。
- (2) それによってどのような行政効果が発揮されたか。
- (3) 公の施設の活用・管理は適正にされているか。
- (4) 基金等の運用管理は適正か。
- (5) 平成30年度決算認定における要望・意見及び令和元年度予算議決に対する意見がどのように処理され、反映されたか。

歳入

歳入の審査にあたっては、

- (1) 町税・使用料等の徴収がよくされているか。
- (2) 補助金が適期に確保されているか。
- (3) 町債が確保されているか。
- (4) その他の収入確保は十分であったか。

歳出

歳出の審査にあたっては、

- (1) 支出が適法・適正にされているか。
- (2) 不用額は妥当であるか。
- (3) 予算流用・予備費充用は適正にされているか。
- (4) 補助金の効果はあがっているか。

以上の視点で審査にあたった。

審査の結果

令和元年度一般会計・国民健康保険事業勘定特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療保険特別会計・水道事業会計の決算認定は、委員会で採決の結果、これを認定すべきものと決定しました。

一般会計

1. 歳入総額	57億5,716万5,502円
2. 歳出総額	56億9,594万9,656円
3. 差引残高(1-2)	6,121万5,846円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	1,530万1,000円
5. 実質収支額(3-4)	4,591万4,846円
6. 基金繰入額	2,500万0,000円
7. 翌年度繰越額(5-6)	2,091万4,846円

国保特別会計

1. 歳入総額	9億3,667万9,682円
2. 歳出総額	9億2,933万5,882円
3. 差引残高(1-2)	734万3,800円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0円
5. 実質収支額(3-4)	734万3,800円
6. 基金繰入額	600万0,000円
7. 翌年度繰越額(5-6)	134万3,800円

介護保険特別会計

1. 歳入総額	6億8,161万5,033円
2. 歳出総額	6億8,109万5,493円
3. 差引残高(1-2)	51万9,540円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0円
5. 実質収支額(3-4)	51万9,540円
6. 基金繰入額	0円
7. 翌年度繰越額(5-6)	51万9,540円

後期高齢者医療保険特別会計

1. 歳入総額	8,514万9,939円
2. 歳出総額	8,337万6,331円
3. 差引残高(1-2)	177万3,608円
4. うち翌年度へ 繰越すべき財源	0円
5. 実質収支額(3-4)	177万3,608円
6. 基金繰入額	0円
7. 翌年度繰越額(5-6)	177万3,608円

水道事業会計

1. 総収益	2億8,548万4,116円
2. 総費用	3億1,476万4,395円
3. 差引残高	△2,928万0,279円

(※3. は、翌年度繰越欠損金として処理。)

令和元年度財政状況

令和元年度末町債残高	63億1,946万9,091円
基金残高	23億1,808万7,779円
公債費比率	12.2% (前年度12.5%) 【※1】
将来負担比率	36.3% (前年度31.9%) 【※2】

※1 比率が低い方が良い。18%以上になると町債発行に国の許可が必要。早期健全化基準は25%。
 ※2 比率が低い方が良い。早期健全化基準は350%。

町執行当局への申し入れ事項

- 1 ふるさと応援寄付金について、基金を創設して活用目的・充当予算費目を透明化して、善意の寄付に答えることと併せて、ふるさと応援寄付金の返礼品に活用できる新たな特産品の開発とその特産品等の販売拠点として『トンミー市場「道の駅」構想』の実現に努めること。
- 2 土作りの推進を行政・農家一体となって取り組み、堆肥センター・農業用育苗施設の有効活用を図るとともに、早急に赤字改善に努めること。併せて、キャトルセンターの運営改善にも継続した取り組みを行うこと。
- 3 浄化槽の管理委託料については、近隣の他市町よりも高額であることから、委託料金設定の積算根拠を精査して他市町並の料金とすることができないか試算すること。もし、委託料金の見直しができない場合は、その理由を明確化すること。

決算審査特別委員会

委員長	柳田 博	委員	名越 多喜子
副委員長	濱田 一徳	//	廣濱 正治
委員	大崎 照男	//	福島 照男

請願陳情審査状況

受理番号	件名及び要旨	提出者	審査状況
陳情4号	南種子町への自衛隊誘致推進に関する陳情書	南種子町商工会 会長 寺田 榮一郎 南種子旅館組合 組合長 日高 広太郎 南種子建設業同志会 会長 神崎 壽丸	継続審査
請願1号	南種子町前之浜の自然環境を守るための関係機関への意見書の採択について	前之浜の自然環境を守る会代表 小田 良広	継続審査



▲前之浜海岸調査(11月27日実施)



▲防衛省からの説明会(10月22日開催)

『商工会と語る会』を開催

令和2年11月27日に町研修センターにおいて、商工会

とは、大変意義ある取り組みであったと思います。

役員関係者と町議会議員との語る会が開催されました。

議会では、今後も「南種子町議会基本条例」に基づき、そ

商工会からは、昨年に引き

れぞれの団体等が抱える現

続き各専門部から町に対する

状・課題及び町行政が抱える

要望等が提起され、それぞれ

課題等について、話し合い情

の課題に対しての意見交換が

報交換を行う場として「語る

なされました。今回の意見交

会」を開催します。希望する団

換を通して、課題内容につい

体等は、議会事務局までご連

ての共通理解と今後の取り組

絡ください。

みに対す認識が深まったと感じます。

商工会の抱える諸課題を共

有することができ、その内容

を町当局にもお繋ぎできたこ



人 事

固定資産評価審査委員 任命（再任）

牛野 和亜（78歳）
南種子町中之下1919番
地125
昭和17年3月4日生



牛野 和亜氏

教育委員任命（再任）

中島 至（71歳）
南種子町平山1832番地
昭和24年5月30日生



中島 至氏

ホームページの閲覧に
ついて

左の二次元コードをスマー
トフォンなどで読み取ると南
種子町議会の議会だより（平
成22年6月発行分以降）と定
例会の会議録（平成27年第2
回定例会分以降）の閲覧がで
きます。是非ご活用ください。

議会だより



会議録



編集後記

令和2年第4回定例会
（12月10日から12月18日）
が行われました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症に振り回された一年であったかと思えます。様々な行事等が中止、縮小になり、活気が無くなったような気がします。命か経済か、私達の所は大丈夫と思っていたら種子島にも感染者が出ました。万全の体制でコロナ対策に臨まなければなりません。私達議会もコロナ禍の中、行政のチェック機関として責任を全うしたのか、自問自答する今日です。

議会広報編集委員会

（文責）廣濱 正治

